

Outlook Calendarの同期項目と制限事項について

No	連携対象項目	schedulelink項目	連携仕様 (Outlook Calendar→schedulelink)	連携仕様 (schedulelink→Outlook Calendar)	備考
1	返信の依頼	(なし)	(連携対象外)	新規登録時:「返信依頼」として登録します。 更新時: (更新対象外)	
2	転送を許可	(なし)	(連携対象外)	新規登録時:「転送許可」として登録します。 更新時: (更新対象外)	
3	出席者リストを表示しない	(なし)	(連携対象外)	新規登録時:「表示」として登録します。 更新時: (更新対象外)	
4	新しい時間の指定を許可	(なし)	(連携対象外)	新規登録時:「許可」として登録します。 更新時: (更新対象外)	
5	公開方法	公開方法	「空き時間」の場合、公開方法が「予定なし」として読取ります。 「他の場所での作業」の場合、公開方法が「予定なし」として読取ります。 「仮の予定」の場合、公開方法が「予定あり」として読取ります。 「予定あり」の場合、公開方法が「予定あり」として読取ります。 「不在」の場合、公開方法が「外出中」として読取ります。	「予定なし」の場合、公開方法は「空き時間」として登録・更新します。 「予定あり」の場合、公開方法は「予定あり」として登録・更新します。 「外出中」の場合、公開方法は「不在」として登録・更新します。	
6	アラーム	(なし)	(連携対象外)	新規登録時:「15分」(デフォルト値)として登録します。 更新時: (更新対象外)	
7	分類	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
8	非公開	公開可否	非公開設定をそのまま読取ります。	非公開設定ステータスに従い登録・更新します。	
9	カレンダー	(なし)	(連携対象外)	デフォルトの個人カレンダーに登録します。	
10	タイトル	件名	タイトルをそのまま読取ります。	件名をそのまま登録・更新します。	250文字を超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
11	Teams会議	本文	会議のURLをプレーンテキストとして「本文」として読取ります。	新規登録時:「設定しない」として登録します。 更新時: (更新対象外)	
12	出席者	参加者情報	「メールアドレス」を元に参加者情報を読取ります。	参加者情報を登録、更新します。	参加可否の回答情報も併せて読取り及び登録・更新します。
13	タイムゾーン	タイムゾーン	タイムゾーンをそのまま読取ります。	タイムゾーンをそのまま登録・更新します。	
14	開始日時	開始日時	開始日時をそのまま読取ります。	開始日時をそのまま登録・更新します。	
15	終了日時	終了日時	終了日時をそのまま読取ります。	終了日時をそのまま登録・更新します。	
16	定期的に実行	繰り返し条件	繰り返し条件をそのまま読取ります。	繰り返し条件をそのまま登録・更新します。	月ごとの繰り返し予定で「日」、「週末」または「平日」が設定されている場合は、個別の予定として読取ります。
17	終日	終日設定	終日設定はそのまま読取ります。	終日設定はそのまま登録・更新します。	
18	会議室/場所	場所	会議室/場所をそのまま読取ります。	会議室/場所をそのまま登録・更新します。	
19	対面イベント	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
20	内容	本文	内容がhtml形式の場合は、本文はHTMLとして読取ります。 内容がtext形式の場合は、本文はプレーンテキストとして読取ります。	同期元がhtmlの場合はhtml形式で登録・更新します。 その他の場合はtext形式で登録・更新します。	

■ その他の制限事項

- ・「同期並列数」はOutlook Calendarのシステム制約上最大「4」となります。他システムとも同期を行っている場合は適宜並列数を下げ設定してください。
- ・繰り返し予定の中で日付や時間を変更した結果、同じ繰り返し予定内の他の日程と被る場合はOutlook CalendarのAPI制限により変更は反映されません。
- ・対向システム側の「月毎」の繰り返し予定で「日」「平日」または「週末」が指定された予定はOutlook Calendar側には個別の予定として登録されます。
- ・「予定表の追加」で個人で追加した予定表毎の連携制御はされません。すべてのスケジュールが連携対象となります。
- ・無期限の繰り返しスケジュールの場合は、連携実行日を基準として999日後までの繰り返しスケジュールとして対向システムに登録されます。

eValueの同期項目と制限事項について

No	連携対象項目	schedulelink項目	連携仕様 (eValue→schedulelink)	連携仕様 (schedulelink→eValue)	備考
1	通常登録／一括登録	(なし)	(連携対象外)	参加者が1名の場合：「通常登録」として登録します。 参加者が2名以上の場合：「一括登録」として登録します。	
2	会議／一括予定	(なし)	(連携対象外)	新規登録時：「予定・会議」として登録します。 更新時：(更新対象外)	
3	開始日時	開始日時	開始日時をそのまま読取ります。	開始日時をそのまま登録・更新します。	
4	終了日時	終了日時	終了日時をそのまま読取ります。	終了日時をそのまま登録・更新します。	
5	終日設定	終日設定	終日設定はそのまま読取ります。	終日設定はそのまま登録・更新します。	
6	繰返し条件	繰返し条件	繰返し条件は読取ります。 ただし、「営業日調整」の内容は読取られません。	繰返し条件を登録・更新します。 ただし営業日調整に関する設定は登録・更新しません。 繰返し条件に当てはまらない日の予定は例外日または除外日として登録・更新します。	営業日調整の結果、繰返しルールとは異なる日付になった予定は例外日（スキップされていた場合は除外日）として読取ります。 また、「指定営業日」で設定された月ごとの繰返し予定は、個別の予定として読取ります。
7	複数日設定	日付リスト	複数日設定を読取ります。	複数日設定をそのまま登録・更新します。	
8	件名	件名	件名をそのまま読取ります。 非公開の予定の場合、「***」として読取られます。	件名をそのまま登録・更新します。	200バイトを超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
9	CAB連携処理	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
10	場所	場所	場所をそのまま読取ります。 非公開の予定の場合、「***」として読取られます。	場所をそのまま登録・更新します。	200バイトを超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
11	内容	本文	内容をプレーンテキストとして読取ります。 非公開の予定の場合、「***」として読取られます。	本文をプレーンテキストとして登録・更新します。	2000バイトを超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
12	タイプ	(なし)	(連携対象外)	新規登録時：「通常の予定」として登録します。 更新時：(更新対象外)	
13	公開範囲	公開設定	「公開」の場合、「公開」として読取られます。 「非公開」の場合、「非公開」として読取られます。 「限定公開」の場合、「非公開」として読取られます。	「公開」の場合、「公開」として登録・更新します。 「非公開」の場合、「非公開」として登録・更新します。	「限定公開」の設定はeValueに特有のもののため、連携で更新される際は「非公開」として更新されます。
14	限定公開先	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
15	重要度	重要度	「高」の場合、「高」として読取られます。 「中」の場合、「中」として読取られます。 「低」の場合、「低」として読取られます。	「高」の場合、「高」として登録・更新します。 「中」の場合、「中」として登録・更新します。 「低」の場合、「低」として登録・更新します。	
16	アイコン	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
17	ダブルブッキング	ダブルブッキング許可設定	「許可」の場合、「許可」として読取られます。 「禁止」の場合、「禁止」として読取られます。	「許可」の場合、「許可」として登録・更新します。 「禁止」の場合、「禁止」として登録・更新します。	
18	参加者	参加者情報	参加者情報を読取ります。	参加者情報を登録、更新します。	回答状況は未回答として登録し、更新は行いません。 複数人スケジュールの場合、対向システムの参加ステータス及びeValue側の参加ステータスはどちらも反映されません。
19	空き状況に表示	公開方法	「通常のスケジュール」の場合、公開方法が「予定あり」として読取ります。 「空き時間」の場合、公開方法が「予定なし」として読取ります。	「予定なし」の場合、「空き時間」として登録・更新します。 「予定あり」・「外出中」の場合、「通常のスケジュール」として登録・更新します。	

eValueの同期項目と制限事項について

No	連携対象項目	schedulelink項目	連携仕様 (eValue→schedulelink)	連携仕様 (schedulelink→eValue)	備考
20	施設・設備	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
21	添付ファイル	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	

■ その他の制限事項

- ・「同期並列数」はeValueのシステム制約上最大値はありませんが、推奨値「1」より大きい値を設定した場合、eValueの動作遅延などが発生する可能性があります。
- ・対向システム側の繰り返しスケジュールの「例外日」はeValueの個別の通常スケジュールとして登録されます。
- ・繰り返しスケジュールを連携先で変更した場合、繰り返しスケジュールから外れる場合があります。
例：eValue スケジューラは繰り返しスケジュールを登録する際、営業日を意識して日をずらす機能があります。他スケジューラには同様の機能がないため、連携先で変更すると繰り返しスケジュールから外れ、個別スケジュールになります。
- ・無期限の繰り返しスケジュールの場合は、連携実行日を基準として999日後までの繰り返しスケジュールとしてeValueに登録されます。
- ・対向システム側で、eValue 側では出来ない設定の同期(例：20日ごと)の繰り返し予定を登録して連携しようとした際はエラーとなり連携されません。
- ・「eValueセールスマネジメント機能」の商談登録によって作成されたスケジュールデータについて、対向システム側での変更削除をeValue側に反映することはシステム制約上できません。
- ・参加者が存在しない会議（不参加者のみの会議）は連携対象とはなりません。

eSM Remixの同期項目と制限事項について

No	連携対象項目	schedulelink項目	連携仕様 (Remix→schedulelink)	連携仕様 (schedulelink→Remix)	備考
1	種別	(なし)	(連携対象外)	schedulelinkで設定した「デフォルトスケジュール種別」を登録・更新します。	
2	件名	件名	件名をそのまま読み取ります。	件名をそのまま登録・更新します。	50文字を超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
3	スケジュールタイプ - 終日	終日設定	終日設定をそのまま読み取ります。	終日設定をそのまま登録・更新します。	
4	スケジュールタイプ - 定例	繰返し条件	繰返し条件をそのまま読み取ります。	個別の「定例」スケジュールとして登録・更新します。	
5	スケジュール開始日時	開始日時	開始日時をそのまま読み取ります。	開始日時をそのまま登録・更新します。	
6	スケジュール終了日時	終了日時	終了日時をそのまま読み取ります。	終了日時をそのまま登録・更新します。	
7	顧客・案件名	本文	顧客・案件名をプレーンテキストで「本文」として読み取ります。	(連携対象外)	
8	郵便番号	場所	場所として読み取ります。 別途、「場所」に設定がある場合は改行を挟んで連結します。	(連携対象外)	
9	住所	場所	場所として読み取ります。 別途、「場所」に設定がある場合は改行を挟んで連結します。	(連携対象外)	
10	建物名	場所	場所として読み取ります。 別途、「場所」に設定がある場合は改行を挟んで連結します。	(連携対象外)	
11	当日面談者	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
12	参加者	参加者情報	参加者情報を読み取ります。	「参加者」を「本文」として書き込みます。	
13	共有者	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
14	詳細内容	本文	詳細内容をプレーンテキストで「本文」として読み取ります。	本文をプレーンテキストとして登録・更新します。	1000文字を超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。 同期元を正として連携します。 Remix側が同期元スケジュールの場合、同期先で「本文」を変更した場合はRemix側に「本文」の変更は反映されません。
15	公開設定	公開可否	「公開」の場合、「公開」として読取られます。 「非公開」の場合、「非公開」として読取られます。	「公開」の場合、「公開」として登録・更新します。 「非公開」の場合、「非公開」として登録・更新します。	活動から次回スケジュールを登録した場合、公開となります。
16	参加者通知	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
17	編集権限	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	

■ その他の制限事項

- ・「同期並列数」はeセールスマネージャーRemixのシステム制約上最大「5」となります。他システムとも同期を行っている場合は適宜並列数を下げて設定してください。
- ・他システムの複数人スケジュールはeセールスマネージャーRemixには個人毎の個別スケジュールとして登録されます。
- ・他システムの定例スケジュールはeセールスマネージャーRemixには「定例」ステータスの個別スケジュールとして登録されます。
- ・他システムで繰返し期限が「無期限」の繰返しスケジュールが連携された際は5年後を最終繰返し日として登録されます。
- ・参加状態が「共有」であるスケジュールの社員は任意参加者として読み取ります。参加可否の回答情報も併せて読み取り及び登録・更新します。
- ・「開始日時」と「終了日時」が等しいスケジュールはeセールスマネージャーRemixのシステム制約上登録できないため連携対象にはなりません。

SalesCloudの同期項目と制限事項について

No	連携対象項目	schedulelink項目	連携仕様 (SalesCloud→schedulelink)	連携仕様 (schedulelink→SalesCloud)	備考
1	件名	件名	件名をそのまま読み取ります。	件名をそのまま登録・更新します。	255文字を超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
2	割当先	所有者	割当先ユーザを所有者ユーザとして読み取ります。	所有者ユーザを割当先として書き込みます。	
3	場所	場所	場所として読み取ります。	場所をそのまま登録・更新します。 また本文にも追記します。	255文字を超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
4	被招集者 (ユーザ)	参加者	被招集者 (ユーザ) を参加者として読み取ります。	参加者を被招集者 (ユーザ) として書き込みます。 また本文にも追記します。	
5	被招集者 (リソース)	場所	被招集者 (リソース) 場所として読み取ります。	(連携対象外)	
6	開始日付/時間	開始日時	開始日時をそのまま読み取ります。	開始日時をそのまま登録・更新します。	
7	終了日付/時間	終了日時	終了日時をそのまま読み取ります。	終了日時をそのまま登録・更新します。	
8	終日行動	終日フラグ	終日設定はそのまま読み取ります。	終日フラグはそのまま登録・更新します。	
9	繰り返し条件	繰り返し条件	繰り返し条件をそのまま読み取ります。	繰り返し条件をそのまま登録・更新します。	
10	非公開	公開可否	「公開」の場合、「公開」として読み取られます。 「非公開」の場合、「非公開」として読み取られます。	「公開」の場合、「公開」として登録・更新します。 「非公開」の場合、「非公開」として登録・更新します。	
11	公開方法	公開方法	「予定あり」の場合、「予定あり」として読み取られます。 「外出中」の場合、「外出中」として読み取られます。 「空き時間」の場合、「空き時間」として読み取られます。	「予定あり」の場合、「予定あり」として登録・更新します。 「外出中」の場合、「外出中」として登録・更新します。 「空き時間」の場合、「空き時間」として登録・更新します。	
12	種別	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
13	行動のサブ種別	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
14	説明	本文	説明をプレーンテキストで「本文」として読み取ります。	本文をプレーンテキストとして登録・更新します。	32,000文字を超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。 同期元を正として連携します。 SalesCloud側が同期元スケジュールの場合、同期先で「本文」を変更した場合はSalesCloud側に「本文」の変更は反映されません。
15	Related To (リード)	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
16	Related To (関連先)	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
17	アラーム設定	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	

■ その他の制限事項

- ・「同期並列数」はSalesCloudのシステム制約上最大「25」となります。他システムとも同期を行っている場合は適宜並列数を下げて設定してください。
- ・開始日時と終了日時の間隔が14日以上スケジュールはエラーとなり連携されません。
- ・Salesforce Classicのカレンダー機能で作成した繰り返しスケジュールは、単一日の予定として読み取られます。
- ・時間帯が重複する繰り返しスケジュールはエラーとなり連携できません。
- ・繰り返し間隔が2年を超えるスケジュールはエラーとなり連携できません。
- ・単一日のスケジュールを繰り返しステータスに変更した場合エラーとなり連携できません。
- ・繰り返しステータスのスケジュールを単一日のスケジュールに変更した場合エラーとなり連携できません。
- ・繰り返し条件を変更した場合エラーとなり連携できません。
- ・繰り返し回数が999回を超える場合は999回を上限として連携します。
- ・同一人物が同一日時から始まる繰り返しスケジュールを登録した場合は、そのうちの1組しか読み取れません。連携によりエラーが発生する可能性があります。
- ・重複するスケジュール（開始日時・終了日時・件名・登録者が一致するスケジュール）は読み取りができずエラーとなります。
- ・複数人スケジュールにおいて個別ユーザのみのスケジュール変更はエラーとなり行うことができません。
- ・Lightning Experienceで作成されたスケジュールはSalesforce Classicで正常に更新・削除できません。

Garoonの同期項目と制限事項について

No	連携対象項目	schedulelink項目	連携仕様（Garoon→schedulelink）	連携仕様（schedulelink→Garoon）	備考
1	予定のタイプ	（なし）	（連携対象外）	「通常予定」として登録・更新します。	
2	開始日時	開始日時	開始日時をそのまま読取ります。	開始日時をそのまま登録・更新します。	
3	終了日時	終了日時	終了日時をそのまま読取ります。	終了日時をそのまま登録・更新します。	
4	タイムゾーン	（なし）	（連携対象外）	（連携対象外）	
5	予定メニュー	（なし）	（連携対象外）	（連携対象外）	
6	タイトル	件名	タイトルをそのまま読取ります。	件名をそのまま登録・更新します。	
7	参加者	参加者情報	参加者情報を読取ります。	「参加者情報」を「参加者」として書き込みます。	参加者の出欠・回答状況は連携対象外となります。
8	共有先	（なし）	（連携対象外）	（連携対象外）	
9	施設	本文	施設名をカンマ区切りで「本文」として読取ります。	（連携対象外）	
10	空き時間	（なし）	（連携対象外）	（連携対象外）	
11	会社情報	（なし）	（連携対象外）	（連携対象外）	
12	メモ	本文	メモをプレーンテキストで「本文」として読取ります。	本文をプレーンテキストとして登録・更新します。	同期元を正として連携します。 Garoon側が同期元スケジュールの場合、同期先で「本文」を変更した場合はGaroon側に「本文」の変更は反映されません。
13	添付ファイル	（なし）	（連携対象外）	（連携対象外）	
14	公開方法	公開可否	「公開」の場合、「公開」として読取られます。	「公開」の場合、「公開」として登録・更新します。	非公開は連携対象外となります。
15	繰り返し条件	（なし）	（連携対象外）	（連携対象外）	Garoonで繰り返し条件として設定されているものも全て通常スケジュールとして扱われます。

■ その他の制限事項

- ・「同期並列数」はGaroonのシステム制約上最大「100」となります。他システムとも同期を行っている場合は適宜並列数を下げて設定してください。
- ・登録時に「公開」状態で登録し連携された後に「非公開」に変更された場合はAPI制限により読み取れ無いため削除されたものとして扱われ、データ自体も削除されます。
- ・他システムで繰り返し期限が1年を超えるスケジュールが連携された際は1年後を最終繰り返し日として登録されます。
- ・開始日時と終了日時の間隔が24時間以上となる繰り返しスケジュールについては連携対象外となります。
- ・繰り返し予定の更新が行われた際に例外日に対しては反映されません。

Googleの同期項目と制限事項について

No	連携対象項目	schedulelink項目	連携仕様 (Google Calendar→schedulelink)	連携仕様 (schedulelink→Google Calendar)	備考
1	イベントのタイトル	件名	イベントのタイトルをそのまま読み取ります。	件名をそのまま登録・更新します。	1024文字を超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
2	開始日時	開始日時	開始日時をそのまま読み取ります。	開始日時をそのまま登録・更新します。	
3	終了日時	終了日時	終了日時をそのまま読み取ります。	終了日時をそのまま登録・更新します。	
4	開始日・終了日	終日設定	開始日・終了日が存在する場合は終日として読み取ります。	開始日・終了日に日付を登録・更新します。	
5	繰り返しイベント	繰り返し条件	繰り返し条件をそのまま読み取ります。	繰り返し条件をそのまま登録・更新します。	
6	参加者	参加者	参加者として読み取ります。	参加者をそのまま登録・更新します。	
7	Meet URI	本文	Meet URIをプレーンテキストで「本文」として読み取ります。	(連携対象外)	
8	場所	場所	場所として読み取ります。	場所をそのまま登録・更新します。	1024文字を超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
9	説明	本文	説明がhtml形式の場合は、「本文」にhtmlとして読み取ります。 説明がtext形式の場合は、「本文」にプレーンテキストとして読み取ります。	本文をプレーンテキストとして登録・更新します。	同期元を正として連携します。 Google側が同期元スケジュールの場合、同期先で「本文」を変更した場合はGoogle側に「本文」の変更は反映されません。
10	会議メモ	本文	会議メモがhtml形式の場合は、「本文」にhtmlとして読み取ります。 会議メモがtext形式の場合は、「本文」にプレーンテキストとして読み取ります。	(連携対象外)	
11	添付ファイル	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
12	色	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
13	公開設定	公開可否	「公開」の場合、「公開」として読取られます。 「非公開」の場合、「非公開」として読取られます。	「公開」の場合、「公開」として登録・更新します。 「非公開」の場合、「非公開」として登録・更新します。	
14	イベントの特定のタイプ	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
15	主催者以外の参加者がイベントに他のユーザーを招待できるかどうか	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
16	主催者以外の参加者がイベントを変更できるかどうか	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
17	主催者以外の参加者が予定の参加者を確認できるかどうか	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
18	サイレントモード - 会議への招待を自動的に辞退する	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
19	サイレントモード - 会議辞退メッセージ	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
20	不在の予定 - 会議への招待を自動的に辞退する	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
21	不在の予定 - 会議辞退メッセージ	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
22	予定あり/予定なし	空き時間フラグ	「予定あり」の場合は「空き時間として扱わない」として読取られます。 「予定なし」の場合は「空き時間として扱う」として読取られます。	「空き時間として扱わない」は「予定あり」として登録・更新します。 「空き時間として扱う」は「予定なし」として登録・更新します。	

Googleの同期項目と制限事項について

■ その他の制限事項

- ・「同期並列数」はGoogle Calendarのシステム制約上最大値はありません。他システムとも同期を行っている場合は適宜並列数を下げて設定してください。
- ・他システムで繰り返し回数が730回を超えるスケジュールが連携された際は730回分のスケジュールを上限として登録されます。
- ・除外日が100日より多い定例スケジュールの連携はエラーとなりできません。
- ・本文にGoogle Calendarの会議スケジュールの参加者のemailアドレスが追記されます。
- ・「新しいカレンダー」で個人で追加したカレンダー毎の連携制御はされません。すべてのスケジュールが連携対象となります。

esmの同期項目と制限事項について

No	連携対象項目	schedulelink項目	連携仕様（Outlook Calendar→schedulelink）	連携仕様（schedulelink→Outlook Calendar）	備考
1	開始日付／時間	開始日時	開始日時をそのまま読取ります。	開始日時をそのまま登録・更新します。	
2	終了日付／時間	終了日時	終了日時をそのまま読取ります。	終了日時をそのまま登録・更新します。	
3	終日の予定にする	終日設定	終日設定はそのまま読取ります。	終日設定はそのまま登録・更新します。	
4	顧客	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
5	案件	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
6	種別	(なし)	(連携対象外)	schedulelinkで設定した「デフォルトスケジュール種別」を書き込みます。	
7	件名	件名	件名をそのまま読み取ります。	件名をそのまま登録・更新します。	500文字を超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。
8	郵便番号	本文	本文として読取ります。 別途、「本文」に設定がある場合は改行を挟んで連結します。	(連携対象外)	
9	住所	本文	本文として読取ります。 別途、「本文」に設定がある場合は改行を挟んで連結します。	(連携対象外)	
10	建物名	本文	本文として読取ります。 別途、「本文」に設定がある場合は改行を挟んで連結します。	(連携対象外)	
11	設備・備品	本文	本文として読取ります。 別途、「本文」に設定がある場合は改行を挟んで連結します。	(連携対象外)	
12	参加者	参加者情報	参加者情報を読取ります。	参加者として書き込みます。	参加状態が「共有」であるスケジュールの「未回答」として読み取ります。 参加可否の回答情報も併せて読取り及び登録・更新します。
13	当日面談者	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
14	当日面談者（テキスト）	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
15	メモ	本文	メモをプレーンテキストで「本文」として読取ります。	本文をプレーンテキストとして登録・更新します。	2000文字を超える場合は超過分は切り捨てて登録・更新します。 同期元を正として連携します。 Google側が同期元スケジュールの場合、同期先で「本文」を変更した場合はGoogle側に「本文」の変更は反映されません。
16	添付ファイル	(なし)	(連携対象外)	(連携対象外)	
17	公開設定	公開可否	「公開」の場合、「公開」として読取られます。 「非公開」の場合、「非公開」として読取られます。	「公開」の場合、「公開」として登録・更新します。 「非公開」の場合、「非公開」として登録・更新します。	
18	他ユーザーが変更/削除	(なし)	(連携対象外)	「可」として書き込みます。	

■ その他の制限事項

- ・「同期並列数」はesmの契約プランによって異なります。契約プラン毎の最大数は以下をご確認下さい。
https://esm-developers.softbrain.com/esm-api/common/common_spec.html#%E3%83%AA%E3%82%AF%E3%82%A8%E3%82%B9%E3%83%88%E5%88%B6%E9%99%90
- ・他システムで繰り返し回数が50回を超えるスケジュールが連携された際はエラーとなり連携されません。
- ・esmで参加状態の変更のみ行った場合は連携対象にはなりません。変更を反映させる際は一度スケジュールの変更画面を表示して保存を行ってください。
- ・他システムの定例スケジュールはesmでは個別スケジュールとして登録されます。
- ・繰り返し予定の更新が行われた際に例外日に対しては反映されません。
- ・「開始日時」と「終了日時」が等しいスケジュールはesmのシステム制約上登録できないため連携対象にはなりません。